

132 コムクドリ

(スズメ目)

Agropsar philippensis

兵庫県ランク:要注目

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道、本州北・北部では夏鳥、本州南西部、四国、九州、沖縄では旅鳥。兵庫県では主に4-5月と9-10月に見られる。平地から山地の疎林や農耕地に生息し、落葉広葉樹林で繁殖する。樹上で昆虫類や木の実を採食する。

国内分布

北海道、南千島、本州北・中部、本州南西部、粟島、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、伊丹市、豊岡市、(加古川市)、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、(丹波市)、南あわじ市、淡路市、(加東市)、(たつの市)、(猪名川町)、(香美町)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

かつては秋の渡り時期に数千羽の大群が通過する地域も見られた。文献上は、1959年10月伊丹市昆陽池での約2,100羽群が最大である。最近では単独若しくは10数羽の小群が各地で記録される程度となっている。

保護上の留意点

平地や丘陵のまとまった林が開発の時代に失われたことにより急減したため、現在残る林を保全育成し、拡大していくことが重要。



写真提供:松重和太



写真提供:但馬野鳥の会